

## 第2次安城市市民協働推進計画策定のための 第4回 協働井戸端会議 結果概要

第4回 協働井戸端会議は、下記のようなプログラムで開催しました。その結果概要は次ページ以降のとおりです。

■日時：平成29年5月27日（土）13：30～

■場所：安城市民交流センター 多目的ホール

### 今日のワークショップ(WS)のねらいは…

- 第3回協働井戸端会議の経過と結果を振り返る。
- 第8次安城市総合計画の5つの分野（健康・環境・経済・きずな・こども）にそって、追加すべき、地域課題解決のための協働事業（NPO×NPO、NPO×地域組織、地域組織×地域組織、NPO×民間事業者、地域組織×民間事業者）を出し合う。
- 地域課題解決のための協働事業アイデアを絞り込んで、具体的なプランとして仕上げる（地域課題解決のための協働事業の「プロジェクトシート」を作成する）。

### 【本日のプログラム】

- 13:30 **1. 開会・あいさつ**
- 2. 本日のプログラム説明**
- 13:35 **3. 前回の振り返り**
- 13:45 **4. 本日の会議のポイントと位置づけ**  
(5分)
- 13:50 **5. グループワーク1**  
(50分) テーマ：地域課題解決のための「協働事業・取組アイデア」を確認し、追加しよう！
- 14:40 **6. 中間発表タイム**  
(10分)
- 14:50 **休憩**
- 14:55 **7. グループワーク2**  
(70分) テーマ：「協働事業・取組アイデア」を具体化しよう！
- 16:05 **8. 発表タイム&講評会**  
(25分)
- 16:30 **9. 事務連絡・閉会**



わくわくちゃん と センタクん

前半（グループワーク1）では、第8次安城市総合計画の5分野（健康、環境、経済、きずな、子ども）ごとにテーブルに分かれて、前回（第3回）協働井戸端会議で整理した『地域課題解決のための協働事業・取組アイデア』を確認し、さらに追加すべき事業・取組について話し合いました。

下線部分と吹き出し部分が、第4回協働井戸端会議で追加した部分です。

テーマ	健康	グループ	A
-----	----	------	---

### 1 ラジオ体操

- アンフォーレでのイベント
- 町内会（世代交流）

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	ラジオ体操の普及	町内会	アンフォーレ指定管理者	アンフォーレ願いごと広場で開催することで、誰でも気軽に参加できる
2	子ども会・町内会でラジオ体操を推進する	子ども会	町内会	場所の確保（公民館他）長期に渡り続けるため、まず夏休みの時期
3	高齢者・子どもの健康推進ラジオ体操	健康推進関係	地域町内会、神社、寺	場所の提供町内会等子ども会・老人会の協賛で長く実施
4	世代交流	子ども会	老人クラブ	ラジオ体操を合同で（ついでに交流スポーツとか）
5	健康都市推進	企業	？	朝礼前にラジオ体操を南吉体操？

### 2 ウォーキング

- アンフォーレでイベントを
- イベントの周知（町内会・行政・商工の巻き込み）
- 運動ぐつの補助

ウォーキングのメリットをPRしてほしい。

イベントの巻き込み

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	ウォーキングの普及 <u>※実際やっている人が多いのでは？</u>	<u>健康管理推進課</u>	スポーツ課 アンフォーレ指定管理者	アンフォーレをスタート&ゴールとして、ウォーキングイベントを開催
2	ウォーキングの参加者が少ない <u>※普段歩いている人はいいが、いかに他の人達を巻き込むか。</u>	広報等	地域団体、 <u>町内会</u> <u>※回覧しても参加は少ない</u>	町内の事業に組み込み
3	市民ウォーキング大会の推進	広報	<u>有名人や特典（神杉酒造やヤマザキパン）</u> <u>まずは行政がイベントの立ち上げを、</u>	誰でも参加できるウォーキングの開催と皆に伝えるため、

				広報に掲載
4	イベント活動	商工会・行政	市民団体	「JRのさわやかウォーキング」的なもの
5	<u>【追加】</u> <u>ウォーキングイベント</u>	<u>行政</u>	<u>市民団体</u> <u>NPO、町内会、</u> <u>老人クラブ、</u> <u>企業、学校</u>	<u>参加しやすいウォーキングイベントの開催</u>

**【地域課題発版】**

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
5	健康・スポーツ推進	行政	商店・ショップ	自転車・運動ぐつの補助金

**3 自転車**

- （電動）自転車の普及活動
- 試乗会
- 講習会

**【地域課題発版】**

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	自転車活用の推進	都市計画課	エコリンリン、アンフォーレ指定管理者、自転車競技部	アンフォーレでの自転車イベントの開催
2	電動自転車の普及	都市計画課	エコリンリン、アンフォーレ指定管理者、企業、自転車店	電動自転車の体験会をアンフォーレで開催
3	中学生や高校生の自転車のマナー	市民安全課	学校	学校や警察の指導強化 通学路のマナーを教えてほしい
4	自転車マナーの普及	学校	警察、市民安全課、エコリンリン（市民ボランティア）	マナー講習会の開催、指導

**4 健康マイレージ**

- マイレージイベント
- 補助

各イベントでポイント付加を。

**【地域課題発版】**

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	健康マイレージの普及促進	健康推進課	アンフォーレ指定管理者、企業、市民団体	
2	健康マイレージの普及	健康推進課	市民団体、地域G	普及員の認定と宣伝活動
3	医療費の削減	行政	病院	健康マイレージの病院版
4	医療機器の購入補助			金×補助により関心を持ってもらう

### 1 あんくるバス路線

- カーシェアリング
- フレキシブルな交通手段

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	移動手段（バスなど）が充実していない		都市計画課	個人の車の乗り合いができるようにする（Uberのような）
2	あんくるバスルート見直し	あんくる利用者	都市計画課	市職員と市民で実態調査して、ルートを決定する

### 2 河川をきれいに

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	河川をきれいに	エコネットあんじょう	各町内会、アイシンAW、デンソー	河川の浄化、清掃、子どもが遊べる河川

### 3 自然体験

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	環境自然体験型ふれあいの場	環境都市推進課	環境団体	田んぼ、畑、川遊び、ネイチャーゲーム等指導

### 4 監視カメラ

- 交通
- ゴミステーション

【私発版】

	①自分が所属している団体の名称	②抱えている困りごと（他団体等との協働で解決しそうな困りごと）	③協働相手になってほしい団体	④協働でどのようなことをやってほしいか
1	和泉町福祉委員会	安全安心のため、盗難防止及びゴミステーションの監視にカメラの設置	安城市または企業	太陽光により、蓄電できる機能、個人の電気では迷惑を掛けてしまう

### 5 子ども見守り

【地域課題発版】

- GPSしくみ

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	防犯のための設備が少ない	地域組織	民間企業	カメラだけでなく、GPSなどで、どこにいるか見守るシステム作り

## 6 原風景を残そう

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	安城の原風景を残す	文化財保護課	緑地保全課	保護地区（樹齢 300 年以上の木のある地区、昔の建造物のある所、昔ながらのいとなみのあるところ）を作って守る
2	安城の原風景の保全	環境団体	環境都市推進課	田、畑、森、川などホタル、メダカ、クサガメなど在来種の保全に取り組む

## 7 公園の緑充実

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	公園の木の保護	公園緑地課	各町内会	公園の緑と木の保護
2	緑あふれた町の形成	安城市公園緑地課	造園業者	望む安城緑の町づくりにのっとった剪定の仕方

## 8 安心安全な農業

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	日本のデンマーク（農業の多様化）	農務課	食育推進課	地産地消推進、食育、伝統料理継承（安全安心の農産物）

## 9 交通安全対策

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	交通安全対策	町内会、子ども会の保護者	交通安全協会（県警）	標識を立てる 交通横断の旗設定 必要性管理方法のマニュアル作成

## 10 ゴミ分別

### 【地域課題発版】

○外国人へ徹底

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	ゴミ分別（外国人）	町内会	外国人に日本語を教える団体	分別方法説明 手順の作成 丁寧な説明会

テーマ

経済

グループ

C

## 1 金食い虫のインフラ（施設）

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	◎金食い虫のインフラ（施設）	公民連携の民間企業	行政	PPPで起業して既存のインフラ（資源）農業、観光を一体でコラボさせて金を生む

## 2 駅前活性化

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	三河安城駅の活性化	商工会・JAあいち	JR東海	ダイヤ調整駅ではなく、リニア開通に向けた駅づくり（農産物に特化する）
2	◎中心市街地の活性化	商店街	民間企業	アイデアとお金
3	駅前商店街活性化	商店街	超一流店	行列のできる店マルシェ
4	安城駅前活性化			通年ミニ七夕まつり

## 3 デンパーク

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	行きたくなるデンパーク	安城市	JAあいち+旅行業者	他府県の人たちが行ってみたいテーマパークづくり
2	市外からの集客、賑わい、人の流れ  ◎七夕の集客			人が集まる 安城でしか手に入らない物がある 安城の「ココ」にこななければならない事がある
3	◎デンパーク集客	デンパーク	アサヒビール	デンビールをうまくする

## 4 アンテナショップ

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	安城市外からお金流入 三河産野菜のアピール ◎農作物	農家（JA）	行政	都市へのアピールが必要 名古屋市等、都市のアンテナショップ開設へ

## 5 女性の活躍

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	子どもの貧困を助ける	学校・町内会	民間企業	あしなが制度（安城版）
2	女性の活躍促進（子育て）	子育て支援課	ママ・パパ	マッチング
3	高齢者の見守り	町内会	NPO	情報連携と人

1 転入者と地域をつなごう

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	転入者の方との地縁と きっかけ	市民課	NPOor 地域組織	住まれる地域と繋げる ま ずは町内会、生活基盤必要な ところ 買い物、医者 etc
2	転入者（子育て世代） との地縁ときっかけ	子育て支援課	NPOor 地域組織	リーフレット設置、配布のみ でなく、各々の場所、人と繋 げる人を 安城版ホームスタート
3	<u>【追加】</u> <u>マンションと行政のつ</u> <u>ながりが弱い</u> <u>※災害が起こると困る</u> <u>強めるために</u>	<u>マンション管理組合</u>	<u>NPO</u>	<u>独自の仕組みをつくる</u>

【私発版】

	①自分が所属している 団体の名称	②抱えている困りごと (他団体等との協働で解 決しそうな困りごと)	③協働相手になってほ しい団体	④協働でどのようなことをや ってほしいか
1	北部コミュニティ協議 会 防災防犯部会	諸々の地域課題を他人 まかせにしない	町内会	井戸端会議しゃベククリエー ションを協働で開催してほしい

2 女性の登用、活躍の場を

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	女性の発言力を高める	さんかく 21 安城	町内会	町内会など組織にはいる グループとしてもメンバー でも
2	<u>【追加】</u> <u>女性の登用</u> <u>※市全体で進めていっ</u> <u>てはどうか？目標を</u> <u>決めて。</u>		女性登用のノウハウを 先行的にやっている事 例を学ぶ	<u>町内会のあらゆるところに</u> <u>女性に関わってもらよう</u> <u>お誘いする。</u>

【私発版】

	①自分が所属している 団体の名称	②抱えている困りごと (他団体等との協働で解 決しそうな困りごと)	③協働相手になってほ しい団体	④協働でどのようなことをや ってほしいか
1	町内会	人材育成	他町内会	女性の活用
2	池浦町福祉委員会	活動への参加者が少な い	子ども会、実年会	町内での人材発掘 町内でボランティアの登録を 行う



### 3 地域の担い手を増やそう

#### 【私発版】

	①自分が所属している団体の名称	②抱えている困りごと（他団体等との協働で解決しそうな困りごと）	③協働相手になってほしい団体	④協働でどのようなことをやってほしいか
1	消防団	消防団員のなり手が少ない 団員増	小中学校	消防訓練を兼ねてPRさせてほしい
2	池浦町内会	町内会加入率減少		
3	池浦町福祉委員会	活動のマンネリ化	他町の福祉委員会	ボランティア団体の協力で活動の魅力化
4	ウィメンズネット安城	講座の人集めに困っている	行政 生涯学習課	チラシの配布方法を一緒に考えてほしい
5	市民協働課 (地域担当課)	町内会活動は高齢者が中心で、若い働き盛り（とくに男性）の参加が少ない	民間企業	町内会活動の一部に、企業従業員の立場で（勤務時間内に）参加してもらい、若い働き盛りの世代に町内会活動を経験してもらおう機会を提供する

### 4 子どもの居場所を作ろう

#### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	子どもの貧困	行政（市）	各町内会	行政（市）と町内会と連絡をとる（子ども会との連携）
2	子どもの食事	子育て支援課	地域組織	共働き、ひとり世帯等夕食等でお助けが必要な方と夕食をとる場をもつことで、ふれあいの場をもつことも
3	遊び場・集いの場づくり	町内会	子育て支援課	場の開放 福祉センター、児童センターよりももっとサテライトで身近に誰でも居られ、集まれるところを

1 子育てママ支援

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	子育てママのサポート支援	健康推進課 子育て支援課	子育てアドバイザーなど	地域の病院、月例に合った子どもの遊び場などの情報や子育てアドバイスなどの啓発をする（パンフ、講座など）

2 子どもの居場所

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	夏休等長期学校が休みになるとき、子どもの安全な居場所	安城市民交流センター等公共施設管理者 <u>公民館、図書館、交流センター</u>	子育て支援を行っている団体、個人	宿題応援等を兼ね、貸し部屋の一部を開放見守り事業

3 子どもの遊び

【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	<u>子どもの独創的遊びの支援</u>	各小学校PTA	子育て支援NPOなど	各学校ごとに子どもの遊び（自由な発想で）やりたいもの、作りたいものなど大人のアイデアでなく企画し開催
		子どもだけでなく、親世代へも支援する。		
2	子どもの安全な外あそび	各町内会	スポーツ関係の団体	公園等を活用し、体力向上を兼ねた見守り、遊び
3	<u>【追加】年代で遊び体験が異なる</u>	<u>親</u>	<u>地域組織</u>	<u>昔の遊び方を親が習い、子どもに伝える</u>

4 子どもの体験

【私発版】

	①自分が所属している団体の名称	②抱えている困りごと（他団体等との協働で解決しそうな困りごと）	③協働相手になってほしい団体	④協働でどのようなことをやってほしいか
1	NPO法人 おやかでのびっこ安城	小学生向け間伐体験をおこなっているが、助成金がなくても実施したい。バス代が高いため、参加費が高くなってしまふ バス代を出してほしい	安城市環境都市推進課	バスを提供してほしい協働でやりたい

## 5 チャイルドライン

### 【私発版】

	①自分が所属している団体の名称	②抱えている困りごと (他団体等との協働で解決しそうな困りごと)	③協働相手になってほしい団体	④協働でどのようなことをやってほしいか
1	NPO法人 おやこでのびっこ安城	子どものための電話相談(チャイルドライン)のボランティアが減っている	社会福祉協議会 市民交流センター	ボランティアに興味ある人を紹介してほしい

## 6 工作資源の活用

### 【私発版】

	①自分が所属している団体の名称	②抱えている困りごと (他団体等との協働で解決しそうな困りごと)	③協働相手になってほしい団体	④協働でどのようなことをやってほしいか
1	愛知エデュースター	資源があるので利用したいが、それを使用する案がない	工作が得意な団体、方	資源をいかすとりくみ

## 7 コミュニケーションツールとのつきあい方【追加】

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	<u>【追加】SNSと子ども</u>	<u>学校</u>	<u>NPO</u>	<u>子どものSNSのつきあい方</u>
2	<u>【追加】子どもとコミュニケーションツールとのかかわり方</u>	<u>子ども会、PTA</u>	<u>子育て支援NPO</u>	<u>携帯、PCとのつきあい方</u>

## 8 性教育【追加】

### 【地域課題発版】

	①解決したい地域課題	②協働のパートナーの名称		③協働の事業・取組の内容
1	<u>【追加】思春期の子どもへの性教育の不足</u>	<u>保健センター</u>	<u>NPO、学校</u>	<u>中高生に向けて、性についての正しい情報を伝える</u>

後半（グループワーク2）では、『地域課題解決のための協働事業・取組アイデア』から、一つの事業・取組を絞り込んで、具体的なプランとなるようその内容について話し合いました。

以下に、5つの分野で絞り込んだ協働事業の提案内容を整理しています。

## ① 健康

協働井戸端会議からの提案

### 協働でつくりあげる、ウォーキングイベントの開催

#### ■背景・趣旨

- ・安城市は現在のところ高齢化率は高くないけれども、将来の備えとして介護予防にしっかりと取り組むことが必要である。日常的に取り組める運動としてウォーキングに着目してその普及を図り、健康習慣づくりに取り組む。

#### ■解決したい地域課題

- ・健康づくりのためにウォーキングする人がいるが、ウォーキングする人をさらに増やしたい。多くの人にウォーキングして欲しい。
- ・ウォーキングを始めるきっかけとなるイベントがない（少ない）。
- ・参加したくなるようなイベントを開催し、きっかけとしたい。

#### ■協働の主体とそれぞれの役割

- ・市民団体、NPO、町内会、老人クラブ等の市民と行政が参加する実行委員会を組織し、市民と行政の協働で開催する。
- ・企業や学校などとも協力できると魅力的なイベントとなる。

<p><b>主体</b> (市民)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体 (歩け歩け運動関係者等)</li> <li>・NPO</li> <li>・町内会</li> </ul> <p><b>役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース企画・設定 (レベル別)</li> <li>・ウォーキングの講師</li> <li>・地元の人が案内人</li> <li>・イベント協賛品、広告</li> <li>・人集め、口コミ</li> </ul>	×	<p><b>主体</b> (行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進課</li> <li>・スポーツ課</li> </ul> <p><b>役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの立ち上げ</li> <li>・場所の提供 (アンフォーレ、公民館等)</li> <li>・資金の提供</li> <li>・特典 (ゲスト、プレゼント)</li> </ul>
実行委員会		

### ■事業・取組の内容

- ・イベント内容……………史跡巡り（地元の人が案内人となり関わる）、スタンプラリー、テーマ別・エリア別でウォーキングコースを設定する。
- ・しくみづくり……………「あんじょう健康マイレージ」のポイントを付与するイベントとする。マイレージの記録帳を交付。完歩証を発行する。
- ・サポート……………健康診断サービスやウォーキング講習を同時開催する。
- ・その他……………ウォーキング保険に加入する。

### 【その他の提案・意見】

- ・ラジオ体操の普及に取り組む。子ども会だけでなく町内会あるいは老人クラブなどと協働し、地域の誰でもが気楽に参加できるようにする。
- ・サイクリングやポタリング（自転車散歩）を普及させる。自転車イベントの開催、自転車マナーの講習会などに取り組む。
- ・健康マイレージの普及に取り組む。

## ② 環境

協働井戸端会議からの提案

### あんくるバス・タクシーを使ったツアーをやろう

#### ■背景・趣旨

- ・ あんくるバス・タクシーの利用が少ない。特にタクシーの利用が進まない。一方、市内には森など原風景が残されたところがあるが、知らない市民が多い。そこで、あんくるバスやタクシーを利用しながら、市内の原風景を見て回るツアーを開催する。

#### ■解決したい地域課題

- ・ あんくるバス、タクシーの利用が少ない。利用のきっかけをつくりたい。
- ・ バスのルート見直しに、バス利用者（本当のユーザー）が関与していない。
- ・ 安城の原風景を知らない人が多い。

#### ■協働の主体とそれぞれの役割

- ・ あんくるタクシーの運営会社と環境に関わる市民活動団体が協働して、ツアーを開催する。

<b>主体</b> ・ あんくるタクシーの運営会社	×	<b>主体</b> ・ 原風景見学ツアーを実施している市民活動団体
<b>役割</b> ・ ツアーの広報 ・ あんくるタクシーの周知		<b>役割</b> ・ ツアーの企画、案内 ・ 原風景の案内

#### ■事業・取組の内容

- ・ あんくるタクシーを知らない人が多いので、あんくるバスとあんくるタクシーを使ったツアーを考える。
- ・ あんくるバスやタクシーは初めての方が利用しづらいので、ツアーを通して利用体験してもらおう。（※特にあんくるタクシーは電話することに抵抗があるので、一度利用体験してもらい抵抗感を無くしたい。）
- ・ ツアーの行く先を原風景のあるところとし、ガイドの実績をもつNPO（例えば、グリーンそう）にガイドしてもらおう。
- ・ 北部や南部など地区ごとの開催とする。北部の人が南部に行ったり、南部の人が北部に行ったりする。
- ・ バスのルート変更の会議に本当のユーザーが入っていない。ツアー参加した方から意見を集めることができる。

### 【その他の提案・意見】

- ・カーシェアリング。個人の車の乗り合いができるようにする。
- ・あんくるバスのルート見直しにあたって、市職員と市民で実態調査してルート決定するようにする。
- ・河川が汚い。NPO、各町内会、民間企業の協働により、河川の浄化、清掃作業に取り組む。子どもが遊べる河川にする。
- ・自然体験できる場（ふれあいの場）を設けて、田んぼ・畑、川遊び、ネイチャーゲーム等を行う。
- ・安全安心のために、盗難防止及びゴミステーション監視のためのカメラを設置する。行政あるいは企業等の協力を得て、太陽光で蓄電できる監視カメラとする。
- ・監視カメラだけでなく、GPSを活用して子どもがどこにいるか見守るシステムづくりを行う。民間企業と地域組織が協力して取り組む。
- ・保護地区を設ける、在来種の保全に取り組むなどして、安城の原風景を残す。
- ・外国人の方のごみの分別理解できていない。外国人に日本語を教える団体などと協働して、分別方法の説明、手順の作成、丁寧な説明会を行う。

### ③ 経 済

協働井戸端会議からの提案

## 安城市にお金が落ちる仕掛けづくり ～デンパークを核として～

#### ■背景・趣旨

- ・既存のインフラ（資源）、農業や観光を一体的にコラボさせて、お金を生む仕掛けを作る必要がある。市外から人を呼んでお金を落としてもらうような仕組み、リピーターがやってくるような仕組みをつくる。
- ・観光面では駅前の賑わいがほしい。駅前にも人がやってくることを考える。
- ・安城市に来なければできないというものをつくり出していく必要がある。そこに集中的に資金投下すべき。

#### ■解決したい地域課題

- ・金食い虫のインフラの解消。
- ・中心市街地の活性化。
- ・七夕の集客、デンパークの集客。
- ・安城農産物の土産化。

#### ■協働の主体とそれぞれの役割

- ・デンパークを核として、市外から安城市に人が訪れ、お金を落としてもらえるような仕掛けをつくる。

<table border="1"> <tr> <td><b>主体</b></td> </tr> <tr> <td>・デンパーク</td> </tr> <tr> <td><b>役割</b></td> </tr> <tr> <td>・場所の提供、拠点</td> </tr> </table>	<b>主体</b>	・デンパーク	<b>役割</b>	・場所の提供、拠点	×	<table border="1"> <tr> <td><b>主体</b></td> </tr> <tr> <td>・アンフォーレ    ・商店街</td> </tr> <tr> <td>・J A、農家        ・企業</td> </tr> <tr> <td><b>役割</b></td> </tr> <tr> <td>・会場提供        ・匠の技の提供</td> </tr> <tr> <td>・情報提供（農家のとりまとめ）</td> </tr> </table>	<b>主体</b>	・アンフォーレ    ・商店街	・J A、農家        ・企業	<b>役割</b>	・会場提供        ・匠の技の提供	・情報提供（農家のとりまとめ）
<b>主体</b>												
・デンパーク												
<b>役割</b>												
・場所の提供、拠点												
<b>主体</b>												
・アンフォーレ    ・商店街												
・J A、農家        ・企業												
<b>役割</b>												
・会場提供        ・匠の技の提供												
・情報提供（農家のとりまとめ）												

#### ■事業・取組の内容

- ・七夕飾り作り体験……………夏は、「安城七夕まつり」の竹飾りとして飾ってもらえる。商店街と協働して行う。冬はデンパークの竹明かりを入れて「イルミネーション」となる。場所はデンパークおよびアンフォーレ。
- ・農業体験……………農家やJ Aで売りたい農産物をアンテナショップのようなかたちで食べてもらう。次に、収穫の体験までしてもらう。さらに自分でつくってみたい人には農業指導する（ノウハウを学べる）。
- ・ビールオーナー制度……………企業に来てもらって、ビールの作り方を教えてもらう。参加者はみんなでお金を出し合って「マイ樽」を確保、ビールフェアでコンテストを開催し、優れたビールは事業化する。



#### 【その他の提案・意見】

- ・行列のできる店マルシェ、通年ミニ七夕まつりなどを開催し、中心市街地（駅前商店街）の活性化を図る。
- ・リニア開通に向けた駅づくり（農産物に特化するなど）により、三河安城駅の活性化を図る。
- ・三河産野菜のアピールを行うため、農家・JA、行政が協働して、名古屋市等にアンテナショップを開設する。都市へのアピールが必要。

#### ④ きずな

協働井戸端会議からの提案

### 町内会組織への女性の登用に向けた取組

問題を解決するのに女性を入れて！ ～きずなづくりと地域課題解決は女性の活躍から～

#### ■背景・趣旨

- ・町内会の運営にあたり、多様性を活かしていくことが求められている。
- ・女性の登用、活躍の場を求める意見は多いが、現実には進んでいない。

#### ■解決したい地域課題

- ・町内会（地縁組織）における女性の活用。                      ・多様な価値観の反映。
- ・女性には町内会への参加しにくさ・抵抗感がある。また地域のつながりが濃すぎることで、女性の活躍が町内会で進んでいないという現状がある。
- ・世代間の意識の違いはあるが、男女差の意識は少しずつ解消されてきている。
- ・現状は町内会の役員は男性が多い。「出過ぎずに控える」という固定的役割意識を女性自身も持っている。そのあたりを改善したい。

#### ■協働の主体とそれぞれの役割

- ・町内会と男女共同参画で実績を持つ“さんかく21安城”が関係を持ち、そこに行政（市民協働課・危機管理課）が関与して、町内会組織への女性の登用に向けた取組を展開する。まずは試行的に取り組んでいくこととする。

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"><b>主体</b></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・さんかく21安城（NPO）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><b>役割</b></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画力+地域での実践</li> <li>・人集めの組織力（NPO等）</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>主体</b>	・さんかく21安城（NPO）	<b>役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画力+地域での実践</li> <li>・人集めの組織力（NPO等）</li> </ul>	×	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"><b>主体</b></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・町内会</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><b>役割</b></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁的なネットワーク力を生かした人集め</li> <li>・試行的な活躍の場・機会の提供</li> <li>・地域における現状と問題点を出してほしい</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>主体</b>	・町内会	<b>役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁的なネットワーク力を生かした人集め</li> <li>・試行的な活躍の場・機会の提供</li> <li>・地域における現状と問題点を出してほしい</li> </ul>
<b>主体</b>										
・さんかく21安城（NPO）										
<b>役割</b>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画力+地域での実践</li> <li>・人集めの組織力（NPO等）</li> </ul>										
<b>主体</b>										
・町内会										
<b>役割</b>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁的なネットワーク力を生かした人集め</li> <li>・試行的な活躍の場・機会の提供</li> <li>・地域における現状と問題点を出してほしい</li> </ul>										

市民協働課  
危機管理課

#### ■事業・取組の内容

- ・講演会（講座）の開催……………男女共同参画の話ができる人、町内会の現状を語ることができる人を講師に、講演会（講座）を開催する。町内会で心ある方に人集めしていただき、女性の参加、役員さんたちの参加を得て開催する。地域福祉や防災など、身近な話題に即して開催する。
- ・町内訓練で実践……………「男女共同参画」を直接テーマとして扱うのではなく、例えば、避難所運営など訓練の機会に、女性に役割を任せていくことで、女性の参加を促していく。

### 【その他の提案・意見】

- ・今まで住んでいる人と新しく来た方が知り合うきっかけ、あるいは外国人の方が知り合うきっかけなど、転入者と地域をつなぐ仕組みをつくる。
- ・マンションと行政の関係が希薄なので、マンション管理組合とNPO等との協働で、即時の仕組みをつくる。
- ・諸々の地域課題を他人任せにしない。そのために井戸端会議しゃベクリエーションを協働で開催して欲しい。
- ・町内会に多様性を生かしていく意味からは、若い働き盛りの方々の参画も促していく必要がある。町内会（地縁組織）がNPOや企業と協働して地域の担い手を増やす取組を展開する。
- ・ボランティア団体等の協力で、町内会（福祉委員会）の活動の魅力化を進める。
- ・小中学校と協働して、消防訓練を兼ねて消防団のPRをさせて欲しい。
- ・外国人の方の貧困や子どもの貧困が問題になってきている。現実を見て、“きずな”を考えて行くことが「必要となっている。行政と町内会との連携を強化していくことなども考えていくべき。

## ⑤ こども

協働井戸端会議からの提案

### 子どもたちの本音をしっかりと聴いてみよう！ “子どもたちのためのしゃべり場”

#### ■背景・趣旨

- ・子どもを取り巻く環境は大きく変化している。そこにどのような問題があるのかについて、子どもたちの本音をしっかりと聴くことが必要ではないか。
- ・子どもたちの本音を聞くことから問題点をみつけ、次の問題解決に向けたステップへと踏み出すことができる。

#### ■解決したい地域課題

- ・安全な居場所。
- ・ SNS の活用のしかた
- ・ 学習・遊びの環境。
- ・ 思春期の子どもの心のケア

#### ■協働の主体とそれぞれの役割

- ・子どもたちが本音を発信することが重要なポイント。本音を発信できる場、機会を用意する。一方の主体（パートナー）は、子どもの本心をしっかりと聴き、問題点を見つけ、対応を考える。

<b>主体</b> ・子ども (学校、子ども会など)	×	<b>主体</b> ・子育て支援を行っている団体 NPO、子育て支援課
<b>役割</b> ・子どもからの本音の発信		<b>役割</b> ・子どもの意見を聴く（本心を聴く） ・問題をみつける（対応を考える） ・ときには専門家に聴くことも必要

#### ■事業・取組の内容

- ・子どもからの意見の聴き方………学校を通じて、あるいは子ども会を通じて子どもたちに集まってもらうことができる。ただし、意見が限定される可能性があるため、子どもの悩み相談を受け付けている「チャイルドライン」からも意見を聴く。
- ・意見を聴く方法………集まった子どもたちで話し合う場をつくる。大人が入って洗脳されることがないように、子どもたちで話し合いながら本音が出るようにする。また、アンケート方式で意見を集めることもできる。
- ・意見を聴く場合、学校や子ども会ごとで場を設ける。地域差があるので小学校区ごとに話を聴くことによって、子どもたちも共感を得て新しい意見が出てくると思われる。

### 【その他の提案・意見】

- ・行政（健康推進課・子育て支援課）と子育てアドバイザーなどが協働して、地域の病院、子どもの遊び場などの情報や子育てアドバイスなどの啓発活動を行う。
- ・夏休みなど長期休暇となる時、宿題応援を兼ねて、子どもの安全な居場所や遊び場を確保し、見守り事業を展開する。
- ・学校ごとに子どもの遊び（自由な発想で）やりたいもの、作りたいものなど大人のアイディアでなく企画し開催する。子どもの独創的な遊びを支援する。
- ・子どものための電話相談（チャイルドライン）のボランティアが減っている。
- ・子どもたちのコミュニケーションツールとの付き合い方が、親からすると不安である。
- ・思春期の子どもへの性教育の不足している。中高生に向けて、性についての正しい情報を伝える。